

34 『トンガリぼうしの魔法つかい④ / サボテン牧場のけつとう』 成井豊

○ ジャンル / ファミリー・オペレッタ
○ ストーリー / ケーキ屋のプリンさんは、実は魔法つかい。ある日、コンドルのジョーが手紙を持ってくる。それは、アメリカに住む女の子・サリーからの手紙。サリーのパパは銀行員だったが、銀行強盗のビリー・ザ・キャットに足を撃たれ、金を奪われた。サリーの兄のチャックは、パパのカタキを討つため、ビリーを追いかけた。プリンさんはチャックを助けるため、サリーの住む街へ飛んでいく。ビリーはチャックだけでなく、保安官のダックスフント・アープ、賞金稼ぎのブルドッグ・ホリデイにも追われていた……。

○ 出演者 / 男 8 十女 3 十 ♀ 計 11 十 ♀
○ 上演時間 / 90 分

登場人物

ケーキ屋プリンさん
ギャングのビリー・ザ・キャット
ビリーの子分たち
チャック (12 歳)
サリー (10 歳)
パパ / マスターのプードル
ママ / 踊り子のチワワ
賞金稼ぎのブルドッグ・ホリデイ
保安官のダックスフント・アープ
アープの部下たち
コンドルのジョー

カ
モ
メ
た
ち
／
踊
り
子
た
ち
／
フ
ク
ロ
ウ
た
ち
バ
レ
エ
団

遠くから、教会の鐘の音が聞こえてくる。あたりは次第に暗くなっていき、やがて夜の闇に閉ざされる。月が昇る。ヨーグルト・キャンディーのように、白くて大きな満月。その光に照らされて、六つの白い影が現れる。白いマントに白いトンガリぼうし。トンガリぼうしの魔法つかいたちである。

――――M1「トンガリぼうしの魔法つかい」

魔法つかいたち

白い月が昇ったら

窓を開けて 夜空を見上げて

ほら トンガリぼうしが通り過ぎる

悲しい寝顔の女の子には

そっと笑顔の魔法をかける

私は月の魔法つかい

トンガリぼうしの魔法つかい

魔法つかいの一人が、トンガリぼうしをとって、お辞儀をする。この物語の主人公、プリンさんである。

プリンさん

みなさん、こんにちは。私はトンガリぼうしの魔法つかい。子供たちに

魔法つかいたち

は、プリンさんと呼ばれてます。みなさんはプリンが好きですか？私
は大好き。もちろん食べるのも好きだけど、自分で作って、誰かに食べ
てもらう方がもっと好き。だから私は、昼間はケーキ屋さんをやってい
るんです。でも、夜になって月が昇ると、このぼうしをかぶって、空へ
飛び立ちます。困っている人を助けるために。私の魔法で、一人でも多
くの人が幸せになってくれたら、私は幸せ。月は、真っ暗な夜を少しで
も明るくしようと、地上に光を注いでいます。私も月のように、困って
いる人を明るくしたいんです。

青い屋根を飛び越えて
忘れた夢 届けに行こう

さあ トンガリぼうしが舞い降りる

ひとりぼっちの男の子には

楽しいお話 聞かせてあげる

私は月の魔法つかい

トンガリぼうしの魔法つかい

そこへ、コンドルのジョーが飛んでくる。

プリンさん

あれ、あの鳥はなんだろう？ みなさん、あの鳥を見たことはありません
か？ なんていう名前の鳥か、わかる人。（と手を挙げる）ダチヨウ？
ハゲタカ？ ちよつと、違うみたいね。わかった。あれはコンドルよ。
でも、日本には、コンドルなんていないはずだけど。どうしてこんな所

ジョー
プリンさん

を飛んでるのかしら。
(プリンさんにハガキを差し出す)

あら、手紙？ あなた、私に手紙を運んできてくれたのね？ どうもありがとう。(とハガキを受け取って) あら、この手紙は、アメリカから来たものだわ。差し出し人は、サリーって名前の女の子。今すぐ、私の町へ来てくださいだって。一体何があったのかしら。

ジョー

(プリンさんの手を引く張る)

プリンさん

ちよっと待って。まだ全部読んでないのよ。

ジョー

(プリンさんの手を引く張る)

プリンさん

わかった、わかった。すぐに行くから、引張らないで。よくわからないけど、急いでるみたいね。私、今からアメリカへ行ってきました。ところで、コンドルさん、あなたのお名前は？

ジョー

(プリンさんに耳打ちする)

プリンさん

へえ、ジョーって言うんだ。それじゃ、コンドルのジョー、私をサリーちゃんの住んでる町まで、案内してちようだい！

プリンさんとジョーが去る。魔法つかいたちも去る。

――――M 2 「カモメが飛んだ日」(演奏のみ)

壁に、港が映し出される。たくさんの船。そこへ、カモメたちがやってくる。空を自由に飛び回る。そこへ、プリンさんとジョーがやってくる。プリンさんはホーキを持っている。プリンさんがホーキにまたがり、空へ飛び上がる。続いて、ジョーも飛び上がる。その周りを、カモメたちが飛び回る。壁に、海が映し出される。真つ青な水平線。貨物船がゆつくりと進んでいく。プリンさんが手を振る。壁に、陸地が映し出される。遠い山なみ。カモメたちが飛び去る。プリンさんが手を振る。壁に、港が映し出される。たたくさんのビル。プリンさんがホーキから降りる。その横に、ジョーが舞い降りる。

プリンさん

さあ、着いた。ここがアメリカね？

ジョー

(うなづく)

プリンさん

私、おなか为空いちゃった。ちよつとハンバーガーを食べてくる。

ジョー

(プリンさんの手をつかむ)

プリンさん

わかった、わかった。サリーちゃんが、私を待ってるって言うんでしょ

う？ で、サリーちゃん住んでる町って、どっち？

ジョー

(指さす)

プリンさん

よし。もうひとふんばり、がんばろうか。

プリンさんとジョーが去る。
壁に、西部の田舎の町なみが映し出される。酒場・ホテル・銀行などなど。反対側から、チャック・サリー・ママがやってくる。チャックはカバンを持っている。サリーはカメラを持っていてる。

チャック

パパ！　パパ！

ママ

チャック、あんまり大きな声を出さないで。パパはお仕事なんだから。本当に、仕事なんかしてるのかな。家にいる時みたいに、ソファアで居

ママ

眠りでもしてるんじゃない？
何言ってるの。パパは、この銀行で一番の働き者なのよ。

サリー

だからって、お正月まで、仕事をする事もないのに。
パパがお仕事をしないと、この町の人が困るのよ。銀行っていうのは、

チャック

それほど重要なものなのよ。
パパ！　パパ！

反対側から、パパがやってくる。西部劇に出てくる銀行員の服装。

パパ

ハイハイハイ、お待たせしました。あれ？　なんだ、おまえたちか。

ママ

ごめんなさいね、お仕事中に。
こんな所へ何しに来たんだ。銀行は、子供が遊ぶ所じゃないぞ。

ママ

違うのよ、あなた。この子たちは、あなたが働いているところを、見に来たの。

パパ

私が働いているところを？

チャック

パパ

サリー

パパ

チャック

パパ

チャック

パパ

チャック

パパ

チャック

パパ

サリー

パパ

チャック

冬休みの宿題なんだ。パパの仕事を調べて、レポートを書くんだ。

サリーもか？

私は、お兄ちゃんのお手伝い。(とカメラを見せる)

よし、わかった。学校の宿題ってことなら、私も協力しようじゃないか。

聞きたいことがあったら、何でも質問しなさい。さあさあ。

じゃ、質問します。お客さんが来ない時は、何をしていますか。

チャックは何をしていると思う。

ソファで居眠り。

そんな暇があるもんか。銀行っていうのは、とつても忙しいんだぞ。

でも、銀行の仕事って、お客さんが持つてきたお金を預かるだけでしょ？

数を数えて、金庫に入れたら、それで終わりじゃない。

そんなことはない。他にも、仕事はいっぱいあるんだ。

どんな仕事？

サリーは知ってるか？

知らない。

それじゃ、教えてあげよう。おまえたちのパパが、どんな仕事をしてい

るか。

壁に、銀行の内部が映し出される。お金・書類・コンピューターなどなど。

——— M3 「パパは毎日働いている」

パパ

パパは毎日働いている

ママ
パパ・ママ

朝から晩まで 家族のために
だからお家へ帰るとグツタリ
お酒を飲んで ソファで居眠り
その姿だけを見て パパをバカにしてはいけない
働いている時のパパは とてもカッコイイのだから
パパは毎日働いている
朝から晩まで 家族のために

チャックは、カバンの中からノートとペンを取り出し、メモをする。サリィは、パパとママの姿をカメラで撮る。壁に、家の内部が映し出される。キッチン・洗濯機・掃除機などなど。

ママ

ママも毎日働いている

朝から晩まで みんなのために

だからたまには 息抜きしたい

今夜の食事 パパが作って

その姿だけを見て ママをバカにしてはいけない

働いている時のママは とても美しいのだから

ママは毎日働いている

朝から晩まで みんなのために

ママ
チャック

どう？ わかった？
何が？

ママ
チャック
ママ

ママが、どんなに一生懸命働いているか。
それはわかったけど、僕が知りたいのは、パパの仕事だよ。
そう言えば、そうだったわね。パパ、お願い。

壁に、銀行の内部が映し出される。お金・書類・コンピューターなどなど。

パパ

よし、わかった。まず一つだけ教えてあげよう。銀行の仕事っていうのは、お金を預かるだけじゃない。逆に、お金を貸したりもするんだ。

そこへ、ビリー・ザ・キャットと子分たちが入ってくる。西部劇に出てくるギャングの服装。

ビリー

すいません。お金を借りたいんですけど。

パパ

いらつしやいませ。少々お待ちください。(チャックに)ほらな。あの

人は、お金を預けに来たんじゃない。お金を借りに来たんだ。

ビリー

すいません。ちよつと急いでるんですけど。

パパ

ハイハイ。ただ今、参ります。(チャックに)口で説明するより、実際

チャック

に見た方が早い。パパがあの人にお金を貸すところを、見てなさい。

パパ

わかった。

ビリー

(ビリーに)お待たせしました。今回は、どれぐらいの金額が必要なん

パパ

でしようか。

ビリー

全部だ。

パパ

は？

ビリー

この銀行に置いてある金、全部が必要なんだ。

パパ

あの、どういう意味でしょう？

ビリー

わからねえのか？俺たちは、銀行強盗なんだよ。

ビリーと子分たちが拳銃を抜き、パパに突きつける。

ビリー
チ・サ・マ
ビリー

チャック

ビリー
チ・サ・マ

ビリー

パパ

ビリー

パパ

ビリー

パパ

ビリー

パパ

ビリー

パパ

ビリー

パパが奥へ去る。

チャック

パパ！

手を挙げる！

パパ！

おっと、動くな。動くと、この男の土手っ腹に風穴が空くぜ。(とパパの腕をつかむ)

パパを放せ！

放してほしかったら、おまえたちも手を挙げる！

(手を挙げる)

おい、銀行員、金庫はどこだ。

奥です。

素直に金庫を開けてくれるだろうな？

あなたがお金を持っていったら、この町の人はどうなるんです。

俺は、開けてくれるかって聞いてるんだ。

イヤです。

そんなことを言っちゃってもいいのか？(と拳銃をパパの顔に向ける)

撃ちたければ、撃てばいいでしょう。

いいんだな、撃つても。(と拳銃をチャックに向ける)

やめろ！息子に罪はない！

だったら、すぐに金を持ってくるんだ。早くしろ！

ビリー

ママ

ビリー

ママ

サリー

ママ

ビリー

死にたくなかったら、静かにしてろ！
あなた、自分が何をしてくるか、わかっているの？ 銀行強盗っていうのは、
とつても悪いことなのよ。捕まったら、牢屋に入れられるのよ。
俺は、絶対に捕まらねえ。今までだって、ちやんと逃げてきたんだ。
ということは、前にも、同じことをしたことがあるのね？ そう言えば、
あなたの顔、どこかで見たことがあるわ。
ママ。あの人の写真、保安官事務所に貼ってあった。
そうか、指名手配の写真ね？ 確か、名前はビリーバンバン。
違う！ 俺の名前は、ビリー・ザ・キャットだ！ 泣く子も黙る、西部
一のギャングだ！

M 4 「ホールド・アップ・ブルース」

ビリー・子分

ホールド・アップ！ ホールド・アップ！
素直におててを挙げないと

俺のコルトが火を吹くぜ

1 キロ先に置いてある

カボチャも撃ち抜く腕前さ

オリンピックに出場すれば

金メダルは確実だ

でも俺がほしいのは

金メダルよりカネカネカネカネだ！

ビリー・子分

ビリー

ホールド・アップ！　ホールド・アップ！
素直におててを挙げないと
俺のコルトが火を吹くぜ
大空高く飛んでいる
コンドルだって撃ち落とす
だから毎日　ごはんのおかずは
焼き鳥に決まってる
でも俺が好きなのは
焼き鳥よりもカネカネカネカネだ！

そこへ、パパが戻ってくる。パパは、\$のマークがついた、大きな布袋を持っている。

ビリワン

ビリー

パパ

ビリー

ビリツー

ブルスリー

ビリー

パパ

ビリー

パパ

ボス！　銀行員が戻ってきました！
（パパに）ご苦労、ご苦労。金は、その袋の中か。
そうだ。
よし。（子分たちに）中を確かめろ。
（袋を覗いて）わー、すごい！
ボス！　100万ドルはありますぜ！
（パパに）これで全部か。
全部だ。それを持っていかれたら、ウチの銀行は倒産だ。
そいつはかわいそうにな。おまえも、明日から失業か。次の仕事が見つ
からなかったら、俺の子分にしてやってもいいぞ。
銀行強盗なんて、絶対にお断りだ。

パパがポケットから拳銃を抜き、ビリーに向ける。

パパ
手を挙げる！

チ・サ・マ

パパ！

ビリー
おいおい、一体何のマネだ。

そのお金は、この町の人たちのものだ。おまえたちに渡すわけにはいかない。

ビリー
おまえに、俺が撃てるか？

パパ
撃てるさ。しかし、なるべくなら、撃ちたくはない。拳銃を捨てて、す

ぐにここから出ていくんだ。そうすれば、命だけは助けてやる。

ビリー
わかった。今回は、俺の負けだ。素直に命令に従うとしよう。（子分た

ちに）野郎ども、拳銃を捨てるんだ。

ビリーと子分たちが拳銃を床に置く。

ビリー
迷惑をかけて、すまなかつたな。仲直りの印に、握手をしようじゃねえ

か。（と手を差し出す）

パパ
いいだろう。（とビリーの手を握り）痛い！ そんなに力を入れるな！

ビリー
すまんすまん。俺は握力が強いんだ。

ビリーがパパの手を振り上げ、拳銃を叩き落とす。パパを突き飛ばし、自分の拳銃を拾う。

ビリー
余計な手間を取らせやがって。野郎ども、行くぞ。

パパ
待て！（とビリーにすがりつく）

ビリー
しつこい野郎だな。（とパパを振り払う）

ビリーがパパの足を撃つ。パパが足を押さえて倒れる。

チ・サ・マ

パパ！

俺に逆らうと、こういうことになるんだ。少しは反省するんだな。あばよ。

ビリーと子分たちが去る。

チャック・サリー・ママがパパに駆け寄る。

ママ あなた！ しっかりして！

パパ 足を撃たれただけだ。大した怪我じゃない。

サリー でも、血が出るよ。

ママ 急いで、病院へ行かないと。チャック、手を貸してちょうだい。

チャック ビリー・ザ・キャットのヤツ、パパをこんな目に遇わせやがって。

チャックが、パパの落とした拳銃を拾う。

ママ チャック、何をするの。

チャック 僕は、パパのカタキを討つんだ。ビリー・ザ・キャットの足を、この拳

銃で撃つんだ。

パパ チャック、待ちなさい！

チャックが走り出す。と、チャックの目の前に、ダックスフント・アープとその部下たちが現れる。西部劇に出てくる保安官の服装。胸には、星のバッジ。

アープ 待ちたまえ、チャック。

チャック
アープ

チャック

ママ
アープ

そこをどいてください。僕は急いでるんだ。
君を行かせるわけにはいかない。ビリー・ザ・キャットを逮捕するのは、
私の仕事だからな。
誰ですか、あなたは。
この町の保安官よ。確か、名前はダークダックス。
違う！ 私の名前は、ダックスフント・アープだ！
逃げ出す、西部一の保安官だ！
ギャングも裸足で

――――
M 5 「星のバッジは勇気の印」

アープ

私は決して許さない
弱い者をいじめるヤツを

私は決して許さない

他人の物を盗むヤツを

誰かが戦わなければ 世界は悪で真っ暗だ

だから私は戦うぞ 勇気を出して

星のバッジは勇気の印

保安官は世界を照らす星だ

アープ

私はいつも見張ってる

悪いヤツはいないかと

私はいつも見張ってる

特にビリー・ザ・キャットを

アープ・部下

誰かが捕まえないければ 世界はビリーの思うまま
だから私は追いかける ビリーの後を
星のバッジは勇気の印
保安官は世界を照らす星だ

アープ
それで、ビリーはどっちへ逃げましたか。

ママ
あつちです。

アープ
よし、ビリーは、私が必ず逮捕します。(チャックに) 君は、パパを病

院へ運ぶんだ。

チャック
ビリーを逮捕したら、どうするんですか？

アープ
牢屋にぶち込んでやる。二度と悪いことをしないと誓うまで、絶対に

外へは出さないぞ。

チャック
それだけですか？ パパはこんなに痛い思いをしたのに、ビリーは牢屋

に入るだけですか？

アープ
ビリーは、前科500犯の悪者だ。そう簡単には出てこれないよ。

チャック
僕はイヤだ。ビリーにも、パパと同じ思いをさせるんだ。僕は、パパの

カタキを討つんだ。

チャック、待ちなさい！

チャックが走り去る。

アープ
なんて気の強い子だ。子供のくせに、ビリーと戦おうなんて。

パパ
保安官、すぐに、チャックを連れ戻してください。

アープ
サリー
ママ
サリー
アープ
ママ
サリー

しかし、あの子が、私の言うことを聞くかな。
プリンさんに頼んでみたら？
プリンさんて、誰？
日本にいる、魔法つかいよ。困っている人を、助けてくれるの。
魔法つかいだって？ バカバカしい。
サリー、魔法つかいなんて、この世にはいないのよ。デイズニーのアニメに出てくるのは、お話の中の魔法つかいなの。
そんなの、知ってるよ。でも、プリンさんは、本当にいるの。

サリーが、チャックのカバンの中からハガキを取り出し、書き始める。

アープ
ダックワ
ママ
ダックツ
ダックス
ダックフ
アープ
サリー

何をするつもりだ。
保安官、こいつ、手紙を書いています。
(サリーに) まさか、プリンさんに出すつもり？
(覗き込んで) 「前略、プリンさん、お元気ですか」
(覗き込んで) 「お兄ちゃんが大変です」
(覗き込んで) 「今すぐ、私の町へ来てください」
今すぐって言われても、日本からだ、1週間以上はかかるぞ。
できた。

サリーが去る。

アープ
プリンさんが来るのを待っている暇はない。チャックのことは、私に任

パ
パ
せてください。
よろしく願います。

そこへ、サリーが戻ってくる。後から、プリンさんとジョーもやってくる。

サリー
ママ！ プリンさんが来てくれたよ！

ママ
え？ こんなに早く？

プリンさん
みなさん、初めまして。日本からやってきた、プリンです。こちらは、私をここまで案内してくれた、コンドルのジョー。

ジョー
(頭を下げる)

プリンさん
話は、今、サリーちゃんから聞きました。急いで、チャックを探しに行きましよう。

ママ
あなた、本当に、魔法つかいなんですか？

プリンさん
そうです。でも、他の人には秘密ですよ。さあ、早く行かないと。

アーブ
私も一緒に行こう。

サリー
私も行く。

プリンさん
プリンさん、チャックをよろしく願います。
わかりました。さあ、みんな。

プリンさん・サリー・アーブ・部下たち・ジョーが去る。

――― M 6 「赤い夕陽に照らされて」

壁に、酒場の内部が映し出される。酒・ピアノ・トランプなどなど。そこへ、ブルドッグ・ホリデイがやってくる。西部劇に出てくる賞金稼ぎの服装。ホリデイは花束を持っている。ホリデイが指笛を吹く。すると、踊り子たちがやってくる。大喜びで、ホリデイの周りに集まる。ホリデイはとってもモテるのだ。作者の私も悔しい。ホリデイが歌う。その周りで、踊り子たちが踊る。

ホリデイ

赤い夕陽に照らされて
荒野を一人 旅してきた
それはおまえに会うためさ
おまえの笑顔が見たかったのさ
風に揺れるブルーゲンビア
それよりキレイな おまえの笑顔が

ホリデイが踊り子たちに花を配る。踊り子たちは、花を一輪ずつ持って踊る。

ホリデイ

赤い夕陽に照らされて
俺は再び 旅に出る

おまえはきつと止めるから
寝顔にそつとさよなら言つて
風に揺れるブーゲンベリア
それよりカワイイ おまえの寝顔

ホリデイがカウンターへ行く。中には、マスターのプードルが立っている。

ホリデイ
マスター
ホリデイ
マスター

マスター、バーボン。
ハイ、バカボンね。(とバカボンの人形を出す)
バカボンじゃなくて、バーボンだ。
ハイハイ、バーボンね。(とバーボンの入ったグラスを出す)

そこへ、ベリーと子分たちがやってくる。ベリーは袋を持っている。踊り子たちが逃げ去る。

ベリー
子分たち
ベリー
子分たち
マスター
子分たち
マスター

野郎ども！ 今夜は酒を浴びるほど飲むぞ！
オー！
酒だ酒だ！ この酒場に置いてある酒を、全部持ってこい！
マスター、ビール！
ハイ、ビールね。(とビルの模型を出す)
ビールじゃなくて、ビールだ！
ハイハイ、ビールね。(とビールの入ったジョッキを出す)

そこへ、踊り子のチワワがやってくる。

チワワ

ハイ、ビリー！

ビリー

よう、チワワ。会いたかったぜ。

チワワ

ずいぶん、景気が良さそうね。あんた、また悪いことをしてきたの？

ビリー

ドキ！ とんでもねえ。俺はマジメに仕事をしてきたんだ。

チワワ

どんな仕事よ。もしかして、銀行強盗？

ビリー

ドキ！ とんでもねえ。マクドナルドでアルバイトさ。

チワワ

まさかとは思うけど、人を撃つたりはしてないでしょうね？

ビリー

ドキドキドキ！

チワワ

もし撃つてたら、あんたとは二度と口をきかないからね。

ビリー

俺が人を撃つわけねえだろう。それより、チワワ。いつもの歌を聞かせ

チワワ

てくれよ。
オーケイ。

—————
M 7 「恋するサボテン」

チワワ

私の恋は 命がけなの

好きになつたら 放しはしない

他の女とイチャイチャしたら

お尻をギョツとつねっちゃう

私はサボテン 恋するサボテン

気をつけないと 針に刺されるわ

チク！

ビリー

俺の仕事は 命がけだぜ
狙った獲物は 逃がしはしない
素直に金を出さねえヤツは
足に一発 お仕置きだ
俺はサボテン 危ないサボテン
気をつけないと 地獄へ落ちるぜ バーン！

そこへ、チャックがやってくる。拳銃をビリーに向ける。

チャック

チワワ

チャック

ビリー

チャック

ビリー

チワワ

チャック

チワワ

ビリー

チワワ

ビリー

ビリー

手を挙げる、ビリー！
あんた、ここへ何しに来たの？
僕は、そこにいる、ビリー・ザ・キャットに用があるんだ。
俺に何の用だ。
手を挙げる！ 挙げないと、撃つぞ！
誰かと思つたら、さっきの銀行にいたガキじゃねえか。こんな所まで、
追いかけてくるとは、思わなかったぜ。
（チワワに）この人、銀行で何をしたの？
僕のパパを撃つたんだ。
なんですって？ ビリー、あんた、やっぱり、嘘をついてたのね？
ドキドキドキ！
あんたとは二度と口をきかない。さっさとここから出ていって。
俺は嘘なんかついてねえ。たぶん、何かの間違いだ。

チャック

ビリー

チワワ

ビリー

チャック

ビリー

チワワ

ビリー

ビリーが袋を床に置く。

じゃ、その袋はなんだ。

この袋は、福引で当たったんだ。

でも、ここに銀行のマークがついてるわ。

あ、間違えた。福引で当たったのは、トイレット・ペイパーだった。この袋は、銀行の前で拾ったんだ。

その袋は、パパの銀行のものだ。返せ！

俺に向かつて、返せだと？

ビリー、その子の言うことを聞きなさい。

返せばいいんだろう、返せば。ほらよ。

ビリー

チャック

ビリー

チャック

おまえの親父を撃ったのは、悪かった。この通り、謝るぜ。仲直りの印に、握手をしようじゃねえか。(と手を差し出す)

そう言つて、また騙すつもりなんだらう。

俺がそんな汚いマネをするわけねえだらう。

僕は騙されないぞ。(と袋に手を伸ばす)

と、ビリーがチャックの耳元で「ワー！」と叫ぶ。チャックが耳を塞ぐ。ビリーがチャックの手を振り上げ、チャックの手から拳銃を叩き落とす。チャックが転ぶ。

ビリー

ガキのくせに、生意気なマネをしやがって。こういうガキには、お仕置
きが必要だな。(と拳銃を抜く)

チワワ
ビリー
チワワ
ビリー

その子に何をするつもり？
親父と同じ目に遇わせてやるのさ。(と拳銃をチャックに向ける)
ビリー、やめて！
うるせえ！ こいつは俺に齒向かったんだ。俺に齒向かうヤツは、絶対に許さねえ。

と、銃声。ビリーが拳銃を落とす。

ビリー

誰だ！

ホリデイ

俺だよ。

カウンターの手前で、ホリデイがビリーに拳銃を向けている。

ビリー

（ホリデイの顔をじっくり見て）誰だ！

ホリデイ

だから、俺だってば。

ビリー

だから、おまえは誰だって聞いてるんだってば。

ホリデイ

おまえ、俺を知らないのか？

ビリー

知らねえ。

ホリデイ

俺は有名なんだぞ。西部一の早撃ちと言え、まず最初に誰を思い出す。

ビリー

西部一の早撃ちと言え。

ホリデイ

西部一の早撃ちと言え？

ビリー

ビリー・ザ・キャット。つまり、俺だ。

ホリデイ

違う。おまえは二番だ。西部一の早撃ちと言え、ブルドッグだろう？

チワワ

思いついた。あの有名な賞金稼ぎね？ 確か、名前はブルドッグ・ソー

ホリデイ

違う！ 俺の名前は、ブルドッグ・ホリデイだ！ 悪には強いが、女の

涙には弱い、西部一の賞金稼ぎだ！

———
M 8 「夢はカウボーイ」

ホリデイ

西部の男の夢は
カウボーイになること
自分が育てた馬に乗って
地平線まで続く草原
どこまでもどこまでも走ること
そのために俺は戦う
悪いヤツらを捕まえて
賞金を手に入れて 夢をつかむんだ

マスターがカウンターから出てくる。

ホリ・マスター

西部の男の夢は
カウボーイになること
自分の牧場を手に入れて
家族みんなで小さな家で
雨の日も風の日も暮らすこと
そのために私は働く
朝から晩まで汗流して
お金を貯めてそして 夢をつかむんだ

マスター

チワワ

マスターも、カウボーイになりたかったの？

マスター
そうです。そのために、この酒場を始めたんです。でも、この人たちが、全然お金を払ってくれないから。
ビリー
うるせえ！

ホリデイがチャックの手を引っ張って、立たせる。

ホリデイ
坊主、大丈夫か？
チャック
ありがとう、助けてくれて。
ホリデイ
ビリーに喧嘩を売るとは、たいした度胸だな。しかし、ビリーは、子供のおまえが勝てる相手じゃない。ここは、俺に任せるんだ。
ビリー
おまえ、俺を殺すつもりか。
ホリデイ
殺しはしない。捕まえて、保安官事務所に突き出すんだ。そうすれば、5万ドルの賞金が入る。
ビリー
5万ドルか。しかし、俺を逃がしてくれたら、10万ドルが入るぞ。
ホリデイ
どういう意味だ。
ビリー
ここに、さっき、銀行からもらってきた金がある。全部で、100万ドルぐらいかな。それを、おまえに分けてやるって言ってるのさ。
ホリデイ
俺が、銀行から盗んだ金を、受け取ると思ってるのか？
ビリー
なんだよ、いらねえのか？
ホリデイ
どうしようかな。
ビリー
10万ドルじゃ足りねえのか？ だったら、20万ドル出そう。
マスター
騙されちゃ、ダメですよ。ビリーは後で取り返すつもりです。
ビリー
うるせえ！

チワワ

ビリー

ホリデイ

チャック

ビリー

ホリデイ

ビリー

ホリデイ

ビリー、諦めて、この人に捕まりなさい。

仕方ねえな。(ホリデイに) さすがの俺も、おまえの腕には叶わねえ。仲直りの印に、握手をしようじゃねえか。(と手を差し出す)

いいだろう。(とビリーの手を握る)

ダメだよ、握手をしちゃ! ビリーは握力が強いんだ!

もう手遅れだ。(と力を入れるが) あれ? おかしいなあ。力を入れてるのに。

なんだよ。おまえの握力は、その程度か。じゃ、俺もそろそろ力を入れろとするか。(と力を入れる)

痛い! 手の骨が砕ける!

体の大きさと握力は関係ないんだよ。まあ、これぐらいで勘弁してやるか。

ホリデイがビリーの手を放す。と、ビリーがホリデイを突き飛ばす。ホリデイが転ぶ。ビリーが自分の拳銃を拾って、ホリデイに向ける。ホリデイも、拳銃をビリーに向ける。

ビリー

ホリデイ

油断したのが失敗だったな。

撃てるものなら、撃ってみろ。どっちが西部一の早撃ちか、証明してやる。

チワワ

マスター

二人とも、やめて!

撃ち合いだったら、外でやってください!

そこへ、アップと部下たちがやってくる。

アープ

ビリー

アープ

ホリデイ

アープ

ホリデイ

アープ

ホリデイ

ビリー

ビリー

ビリー

ビリーが天井のシャンデリアを撃つ。酒場の中が真っ暗になる。

チワワ

マスター

ビリー

アープ

ビリー

手を挙げる、ビリー！
クソ。保安官まで来やがった。

強盗と傷害の容疑で逮捕する。おとなしく、拳銃を捨てるんだ。

保安官、ビリーを捕まえたのは、俺だけ。賞金はちやんとくれるんだろ

うな？

残念だが、半分だけだ。

どうして。

私が出来なければ、ビリーには逃げられたかもしれない。だから、賞金は

私と山分けた。

じゃ、俺は降りる。(と拳銃を下ろし) ビリー、逃げたかったら、逃げ

るんだな。

ありがとうよ。

キヤー！ 停電よ！

ビリーが電灯を撃つたんですよ。こら！ 弁償しろ！

修理代は、保安官に請求するんだな。

壊したのは、おまえだろう！ どこにいるんだ、ビリー！

あばよ、保安官。

壁に、夜空が映し出される。白くて大きな満月。月の光に照らされて、プリンさんとサ
 リーがやってくる。プリンさんはトンガリぼうしをかぶっている。

————— M9 「ムーンライト・マジック」

プリンさん

お願い月の光よ
 私の声を聞いてよ
 闇に迷った旅人に
 道を教える その光で
 私の悲しみ 消して
 明日はきつといい日が来ると
 信じていたいから
 ルーナルーナルー

プリンさん
 サリー

さあ、サリーちゃんも一緒に歌って。ルーナルーナルー！
 ルーナルーナルー！

酒場の中が明るくなる。

チワワ
マスター

プリンさん

マスター

プリンさん

チワワ

プリンさん

サリー

プリンさん

チャック

プリンさん

チャック

プリンさん

チャック

ホリデイが出ていこうとする。

アーブ
ホリデイ
アーブ

あら、明るくなっただわ。

（天井を見上げて）電灯が元に戻ってる！（プリンさんに）もしかして、あなたが直してくれたんですか？

ええ。

でも、一体どうやって？

月の光に助けてもらったんです。

月の光に？ あなた、一体、どこの誰なの？

日本からやってきた、プリンです。この子は、私をこの町に呼んでくれた、サリーちゃん。

初めまして。（とお辞儀をする）

（チャックに）あなたが、サリーちゃんのお兄さん？

そうだよ。

パパとママが心配してるわ。すぐに、お家へ帰りましょう。

イヤだ。

どうしてよ。

僕は、ビリーを追いかけるんだ。ビリーをやっつけるまでは、絶対に家へは帰らない。

おい、ホリデイ。どこへ行く。

どこへ行こうと、俺の勝手だろう。

おまえには、まだ用がある。私と一緒に、保安官事務所まで来てもらお

ホリデイ
アープ
ホリデイ
アープ
ホリデイ
アープ
ホリデイ
アープ
ホリデイ
ホリデイ
チャーック
チャーック
チャーック
チャーック
チャーック
チャーック
チャーック
チャーック
チャーック
チャーック

うか。

俺が何をしたって言うんだ。

ビリーが逃げるのを、助けただろう。

俺は助けてなんかいない。捕まえるのをやめただけだ。

どうしてやめた。

あんたが、賞金を山分けにするって言ったからだ。

別にいいじゃないか。山分けにしたって、2万5千ドルももらえるんだぞ。

俺は牧場が買いたいんだ。そのためには、1ドルでも余計に金がほしい。

ビリーを逃がしたら、1ドルももらえないじゃないか。

俺は今から、ビリーを追いかける。俺一人で捕まえば、5万ドルが手

に入るからな。

僕も行く。

ダメよ、チャーック。あなたは、私とお家へ帰るの。

僕は帰らない。

お兄ちゃん、お願い。私と一緒に帰って。

イヤだ。僕はホリデイと行くんだ。

おまえ、拳銃を撃ったことはあるのか。

ないです。

そんなヤツが、ビリーに勝てると思ってるのか？

ホリデイ、お願いします。僕に拳銃の撃ち方を教えてください。

おまえ、本気か？

本気です。僕をあなたの弟子にしてください。お願いします。

本気です。僕をあなたの弟子にしてください。お願いします。

おまえ、本気か？

本気です。僕をあなたの弟子にしてください。お願いします。

おまえ、本気か？

本気です。僕をあなたの弟子にしてください。お願いします。

おまえ、本気か？

本気です。僕をあなたの弟子にしてください。お願いします。

ホリデイ
チャック

俺は、子供の相手をしてる暇はないんだ。(と歩き出す)
待ってよ、ホリデイ!

ホリデイが去る。後を追って、チャックも去る。

サリー

お兄ちゃん、待って!

プリンさん

大変なことになっちゃったわね。

チワワ

あの子、本気でベリーと戦うつもりよ。

アープ

なんて強情な子だ。すぐに、後を追いかけてよう。

マスター

でも、もう夜ですよ。外には、オオカミやコヨーテがウロウロしてるかもしれない。

サリー

プリンさん、お兄ちゃんを助けて。

プリンさん

わかった。コンドルのジョーに頼んでみましょう。ジョー!

そこへ、ジョーが飛んでくる。

プリンさん

チャックの後を追いかけてほしいの。行き先がわかったら、私に知らせ

ジョー

てちょうだい。
(オーケイのサイン)

ジョーが飛び去る。

———M10「夜の追跡者」(演奏のみ)

壁に、森が映し出される。たくさんの木々。そこへ、フクロウたちがやってくる。木から木へ、枝から枝へ、自由に飛び回る。そこへ、ジョーがやってくる。フクロウたちが集まる。ジョーが話す。フクロウたちが熱心に聞く。フクロウたちが飛び去る。ジョーが木の陰に隠れる。そこへ、ホリデイがやってくる。後を追って、チャックがやってくる。

チャック

待ってよ、ホリデイ。

ホリデイ

しつこいヤツだな。子供の相手をしてる暇はないって、言っただろう。

チャック

そんなこと言わないで、僕に拳銃の撃ち方を教えてください。

ホリデイ

拳銃はオモチャじゃないんだ。子供には無理だ。

チャック

僕は12歳です。もう子供じゃありません。

ホリデイ

(ポケットからニンジンを出して) おまえ、ニンジンは食べられるか？

チャック

食べられません。

ホリデイ

(ポケットからタマネギを出して) じゃ、タマネギは？

チャック

食べられます。

ホリデイ

(ポケットからピーマンを出して) ピーマンは？

チャック
ホリデイ
チャック
ホリデイ
チャック
ホリデイ
チャック
ホリデイ
チャック
ホリデイ
チャック
ホリデイ
チャック
ホリデイ
チャック
ホリデイ
チャック
ホリデイ

ピーマンは苦いから……。
バカ。ピーマンは、苦いからおいしいんだ。ピーマンのうまさかわから
ないなんて、まだまだ子供だ。
（ピーマンを取って）僕、食べます。
ちよつと待て。そのピーマンはナマだぞ。
ナマでも食べます。そのかわり、これを食べたなら、拳銃の撃ち方を教え
てくださいね。アー。（と口を開ける）
（ピーマンを取って）わかったわかった。そこまで言うなら、教えてや
る。
ありがとう、ホリデイ！
しかし、おまえも変わったヤツだな。子供のくせに、親父のカタキが討
ちたいなんて。
ビリーは、パパを騙したんだ。パパはビリーを許してやったのに、いき
なり足を撃ったんだ。
親父が撃たれて、悔しかったか。
ウン。
おまえの気持ちは、俺にもよくわかる。俺の親父も、俺の目の前で撃た
れたんだ。
本当？
あれは、俺がまだ、子供の頃の話だ。今のおまえと、ちよつど同じぐら
いだったかな。俺の住んでた町に、賞金稼ぎがやってきたんだ。
ホリデイみたいな人？
俺なんかより、ずっと強そうなヤツだった。背が高くて、口の周りにい

チャック
ホリデイ

チャック
ホリデイ

チャック
ホリデイ

チャック
ホリデイ

チャック
ホリデイ

チャック
ホリデイ

っばいヒゲを生やしていた。そいつが、俺の親父を撃ったんだ。

ホリデイの父は、ギャングだったの？

俺の親父は医者だった。医者のくせに、酒が大好きでな。その日も、酔

っ払って、賞金稼ぎにからんだんだ。

ホリデイの父は、殺されちゃったの？

殺されるかわりに、手を撃たれた。医者は、手を撃たれたら、おしまい

だ。手術ができなくなるからな。それから言うもの、親父は家に閉

じこもって、一日中、酒を飲むようになった。動かなくなった手を、ジ

ツと見つめながら。

ホリデイはカタキを討たなかったの？

賞金稼ぎは、町を出ていった。俺は、すぐにヤツの後を追いかけた。し

かし、ヤツはいまだに見つからない。

ホリデイは、今でもカタキを追いかけてるんだ。

で、いつの間にか、俺も賞金稼ぎになつてたつてわけさ。

ホリデイも、カタキが討てるというね。

しかし、あれから、十年以上経ってるからな。ヤツのことは、口の周り

のヒゲと、プードルって名前しかわかつてないし。

プードル？ その名前、どこかで聞いたことがある。

それより、今は、おまえのカタキ討ちの方が先だ。早速、練習を始める

とするか。

――
M二「拳銃はオモチャじゃない」

ホリデイ

拳銃はオモチャじゃない
撃てば 何かを傷つける
時には 人の命を奪う
とつてもとつても恐ろしい武器
だから 引き金を引く時は
しつかり 目標を確認すること

ホリデイが撃つ。と、ジョーが木の陰から飛び出す。両手にそれぞれ、木の枝を持っていく。ホリデイが撃つ。ジョーが右手の枝を放す。ホリデイが左手の枝を放す。ホリデイが撃つ。ジョーが両手はパシッと弾丸をキャッチする。ホリデイが驚く。ジョーは「フフフ」と笑い、飛び去る。そこへ、ビリーと子分たちがやってくる。ビリーも子分も拳銃を抜いている。

ビリー

拳銃はオモチャじゃない
撃てば 何かを傷つける
時には それで金が儲かる
とつてもとつても役に立つ武器
だから 引き金を引く時は
しつかり 相手が金を持っているかどうか確認すること

ビリー
ホリデイ
ビリー

おまえら、こんな所で何をしてるんだ。
拳銃の練習だ。
そんな危ねえことを、ガキに教えてどうするんだ。もしかして、そいつ

ホリデイ
ホリデイ
ホリデイ
ホリデイ
ホリデイ
ホリデイ
ホリデイ
ホリデイ
ホリデイ
ホリデイ

子分たちがチャックを捕まえる。

ホリデイ
ホリデイ
ホリデイ
ホリデイ
ホリデイ
ホリデイ
ホリデイ
ホリデイ
ホリデイ
ホリデイ

のカタキ討ちを手伝うつもりか？

俺は、おまえに恨みはない。

じゃ、なぜ俺を追いかけた。

おまえを捕まえて、保安官事務所に突き出すためだ。

そんなに、5万ドルがほしいのか。

俺は、自分の牧場がほしい。そのためには、金が必要なんだ。

どうやら、ここで決着をつけるしかないようだな。

やるか。

これは、男と男の勝負だ。汚いマネは、するんじゃねえぞ。

わかっているよ。

よし。野郎ども、そのガキを捕まえろ！

こいつを助けたかったら、拳銃を捨てろ。

汚いぞ、ホリデイ！

うるせえ！ 勝負つてのは、要するに勝てばいいんだ。

わかったよ。(と拳銃を捨てる)

ホリデイ！

ブルドッグ・ホリデイ。おまえの命も、これで終わりだ。(と拳銃を向ける)

壁に、夜空が映し出される。白くて大きな満月。月の光に照らされて、プリンさん・サリー・ジョーがやってくる。プリンさんは、トンガリぼうしをかぶっている。

プリンさん やめなさい、ビリー！

ビリー うるせえ。関係ねえヤツは黙ってる。

プリンさん いいえ、黙らないわ。人が撃たれるのを、黙って見過ごせるもんですか。見るのがイヤなら、目をつぶってる。ホリデイ、覚悟はいいな？（とチ

プリンさん ヤックを放して、拳銃を構える）

ビリー ルーナルーナルー！

うわー！

ビリーが拳銃を握った手を地面につける。

ビリー 重いー！ 拳銃がいきなり重くなったー！

ホリデイ よし、今だ。（と拳銃を拾う）

プリンさん ルーナルーナルー！

ホリデイ うわー！

ホリデイが拳銃を握った手を地面につける。

ホリデイ
プリンさん

重いー！ 拳銃が、カバかゾウになったみたいだー！
拳銃はオモチャじゃない。撃てば、誰かを傷つけるのよ。ケンカがした
かったら、もっと別の方法でやりなさい。

ビリー

じゃ、プロレスだ。(ホリデイに)どこからでもかかってこい！

ホリデイ

俺は、プロレスは苦手だ。相撲の方がいい。

ビリー

バカめ。相撲で、俺に勝てると思ってるのか？ 俺は子供の頃、ちびっ

ホリデイ

こ相撲で大関だったんだぞ。

ホリデイ

へえ、凄いな。でも、俺は横綱だった。大関が横綱に勝てると思ってる

ビリー

のか？(と構える)

プリンさん

よし、勝負だ。(と構える)

ビリー・ホリデ

うわー！

ビリー

ルーナルルーナルー！

ビリーとホリデイが後ろに倒れる。

ビリー

重いー！ 体がいきなり重くなっただー！

ホリデイ

自分の体が、武蔵丸か曙になったみたいだー！

プリンさん

そんな恰好でお相撲をしたら、服が破けるじゃない。もっとおとなしい

サリー

方法でやりなさい。

プリンさん

たとえば？

ジョー

たとえば……。

(プリンさんに耳打ちする)

プリンさん

そうね、それがいいわ。ここはアメリカなんでもん。アメリカの男が勝負するのなら、やっぱりそれしかないわ。

ビリー

それって？

プリンさん

決まってるじゃない。蹄鉄投げよ。

ビリー

蹄鉄投げだと？ 大の大人が、そんなバカバカしいこと、できるか。

ホリデイ

そんなこと言って、本当は自信がないんだろう。

ビリー

冗談言うな。俺は子供の頃、ちびっこ蹄鉄投げ大会のチャンピオンだったんだぞ。

ホリデイ

へえ、凄いな。でも、俺はグラランド・チャンピオンだった。チャンピオンがグラランド・チャンピオンに勝てると思ってるのか？

ビリー

よし、勝負だ。野郎ども、蹄鉄投げの道具を持ってこい！

子分たちが木の柱を2本と、大きな蹄鉄を10個、持ってくる。

プリンさん

どうして蹄鉄投げの道具がここにあるの？

ビリー

実を言うと、俺は蹄鉄投げが大好きなんだ。毎朝起きたら、ラジオ体操の次に、これをやることにしてる。(ホリデイに) どうだ、ビビったか。

ホリデイ

ビビッ！

俺の子分たちも、なかなかの腕前だ。何しろ、俺がコーチしてるんだからな。野郎ども、おまえらの腕前を見せてやれ！

子分たちが2チームに分かれて、蹄鉄投げを始める。

――――M 12「忘れてないさ」

ビリー

子供の頃から俺とおまえは

毎日毎日戦っていた

ビー玉　ペーゴマ　メンコにパチンコ

おまえに勝つのが生きが이었다

子供の時間は駆け足で過ぎる

知らない間にもう日が暮れる

知らない間に大人になってる

でも忘れてはいないさ　あの日の勝利を

全員

ビリー

野郎ども、ご苦労だった。次はいよいよ、俺の出番だな。

プリンさん

ちよつと待って。その前に、私にやらせてくれない？

チャック

僕もやりたい。

サリー

私も。

ジョー

(手を挙げる)

プリンさん

ジョーもやりたいのね？(客席に向かって)みんなはどう？　一緒にやりたい人は、手を挙げて。

客席の子供たちが手を挙げるだろう。プリンさんが、その中から何人かを選んで、ステージへ連れてくる。チャック・サリー・ジョー・子供たちが蹄鉄投げを始める。

ホリデイ

子供の頃から　泣き虫の俺は

全員

毎日毎日泣かされていた
缶ケリ 影踏み 空き地でかくれんぼ
何をやっても 最後はオニだった
子供の時間は 駆け足で過ぎる
知らない間に もう日が暮れる
でも忘れてはいないさ あの日の涙を

ビリー

ホリデイ

ビリー

プリンさん

みんな、なかなかうまいな。しかし、一番うまいのは、この俺だ。
俺の方がうまかったら、素直に捕まるって約束するか。
それは、うまかったらの話だ。
さあ、勝負を始めるわよ。

ビリーとホリデイが蹄鉄投げを始める。

プリンさん

子供の頃から 気の強い私は
毎日毎日 男子とケンカ

好きだった子まで叩いて泣かして

家に帰って 自分も泣いた

子供の時間は 駆け足で過ぎる

知らない間に もう日が暮れる

でも忘れてはいないさ あの日の涙を

全員

ホリデイは、まじめに蹄鉄投げをやる。ビリーは、子供たちに命令して、自分が外した蹄鉄を木の柱に引っかけさせる。

ビリー　ホリデイ、おまえはいくつ引っかかった。

ホリデイ　全部で3個だ。

ビリー　俺は、全部で5個だ。つまり、一個も外さなかつたってわけさ。この勝負、俺の勝ちらしいな。

チャック　違うよ。ホリデイの勝ちだよ。

ビリー　なんだと？

チャック　ビリーは反則をした。僕、見てたよ。

サリー　私も見えた。

ジョー　（手を挙げる）

プリンさん　ジョーも見てたのね？（客席に向かって）みんなはどう？　ビリーの反則を見てたっていう人は、手を挙げて。

客席の子供たちが手を挙げるだろう。

プリンさん　（子供たちの一人に）ビリーは、どんな反則をしたの？

子供たちの一人が答えるだろう。

ビリー　うるせえうるせえ！　勝負つてのは、要するに勝てばいいんだ。

プリンさん

ホリデイ

ホリデイ

ホリデイ

ホリデイ

ホリデイ

ホリデイ

ホリデイ

でも、この勝負はホリーの負けよ。ホリデイの反則勝ち。

(ホリーに) 残念だったな。さあ、素直に俺に捕まるんだ。

蹄鉄投げで負けたぐらいで、捕まってたまるか。ホリデイ、拳銃で勝負

だ。

しかし、拳銃は重くて持てないぞ。

勝負は明日だ。明日の夜明けに、サボテン牧場へ来い！

決闘か。

東の空に太陽が昇ったら、決闘開始だ。野郎ども、行くぞ。

ホリーが拳銃を重そうに持ち上げる。ホリーと子分たちが去る。反対側へ、プリンさん・チャック・サリー・ホリデイ・ジョーが去る。

壁に、酒場の内部が映し出される。酒・ピアノ・ランプなどなど。そこへ、チワワ・アープ・部下たちがやってくる。

チワワ
アープ
チワワ
遅いわね、プリンさんたち。もうすぐ夜が明けちゃうわ。
もしかして、ビリーに捕まったのかもしれないぞ。
本当？ だから、明日の朝にした方がいいって言ったのよ。保安官、急

ダックワ

大丈夫ですよ、プリンさんは。

チワワ

どうしてそんなことがわかるのよ。

ダックシックス

プリンさんは、とっても強いんです。空に月が出ている限り、誰にも負

アープ

おまえたち、前からあの人のことを知ってたのか？

ダックファイブ

もちろんですよ。プリンさんは、子供の世界では有名なんです。

チワワ

あの人、一体、何者なの？

ダックセブン

教えてあげましょう。プリンさんは、実は魔法——

部下たちがダックセブンの口を塞ぐ。

アープ
ダックワン
アープ

今、なんて言った？ 「魔法」って言ったのか？
言っただけよ、そんなこと。
いや、確かに「魔法」って言った。そうか、わかったぞ。プリンさんの
正体は、魔法瓶なんだな？

そこへ、プリンさん・チャック・サリー・ホリデイがやってくる。

プリンさん
チワワ
アープ

ごめんなさい、遅くなって。
よかった！ みんな無事だったね？
（ホリデイに）なんだ、おまえまで戻ってきたのか。ということは、ビ
リーに逃げられたんだな？

プリンさん
チワワ

それが違うのよ。ホリデイは、サボテン牧場で、ビリーと決闘すること
になったの。
なんですって？

ホリデイがカウンターへ行く。中には、マスターが立っている。

ホリデイ
マスター
ホリデイ
マスター
ホリデイ
マスター

マスター、ミルク。
あれ？ バーボンじゃないんですか？
決闘の前に、酒を飲むわけにはいかないだろう。だから、ミルクだ。
ハイ、ミミズクね。（とミミズクのスイグルミを出す）
ミミズクじゃなくて、ミルクだ。
ハイハイ、ミルクね。（とミルクの入ったコップを出す）

チャック
ホリデイ
チャック
ホリデイ
チャック

ねえ、ホリデイ。僕も決闘に行つていいよね？
ダメだ。

どうして？ 僕はホリデイの弟子なんだよ。

俺は、おまえにまだ何も教えてない。決闘なんて、無理だ。

でも、僕はビリーと戦いたい。パパのカタキが討ちたいんだ。ホリデイ

だつて、僕の気持ちはわかるだろう？

何よ。ホリデイも、カタキを追いかけてるの？

私は、カタキ討ちなんて、絶対に認めないぞ。たとえどんな理由があつ

たとしても、人を撃つのは悪いことだ。

でも、先に撃つたのは、ビリーの方なんだよ。

それでも、人を撃つのは悪いことよ。

チャック
プリンさん

—————
M13「もしも誰かを嫌いになったら」

プリンさん

大きな大きな宇宙の中で

人が生きているのは たぶん

小さな小さな地球だけ

だから 人の命は

一つ一つが 宇宙の宝物

もしも誰かを嫌いになったら

そのことを思い出そう

命は 宇宙の宝物だということ

プリン・サリー

チワワ・アープ

もしも誰かに傷つけられて
いつかは僕も傷つけてやる
そう思うのもよくわかる

だけど傷つけ合って

いつになつたら仲直りできるの

プサチア・部下

もしも誰かを嫌いになつたら

そのことを思い出そう
命は宇宙の宝物だということを

チャック

プリンさん

ビリーの命も、宝物なの？

そうよ。ビリーは、自分がしていることの恐ろしさに、気づいていない

だけなの。

チャック

プリンさん

じゃ、ビリーは悪くないって言うの？

確かに、チャックのパパを撃つたのは、悪いことよ。でも、ビリーがそ

アープ

アープ

んなことをしたのは、心が弱いからなのよ。

「罪を憎んで、人を憎まず」という言葉がある。ビリーを憎むのではな

プリンさん

くて、ビリーのしたこと憎むんだ。

アープ

チャックの気持ちはよくわかるわ。でも、チャックがビリーを撃つたり

アープ

したら、今度は、子分たちがチャックを狙ってくるわ。

マスター

大切なのは、ビリーに二度と悪いことをさせないってことだ。そのため

チワワ

には、牢屋に入れて、反省させるのが一番なんだ。

チワワ

あれ？外が明るくなってきたぞ。

チワワ

夜が明けてきたのよ。

ホリデイが出ていこうとする。

アープ　おい、ホリデイ、どこへ行く。

ホリデイ　決まってるだろう。サボテン牧場だ。

アープ　ビリーを逮捕するのは、保安官の仕事だ。私も一緒に行くぞ。

ホリデイ　来るな。あんたが来たら、賞金が山分けになる。

アープ　そんなに、5万ドルがほしいのか。

ホリデイ　これは、俺の最後の仕事だ。5万ドルが入ったら、俺は賞金稼ぎから足を洗うんだ。

マスター　どうとう牧場を買うんですか？

ホリデイ　それが、俺の夢だからな。(と歩き出す)

チャック　待つてよ、ホリデイ！

ホリデイが去る。後を追って、ビリーが去る。

サリー　プリンさん、お兄ちゃんが。

アープ　全く困った子だな。これだけ言っても、わからないなんて。

プリンさん　のんびりしてる場合じゃないわ。急いで後を追いかけないと。

アープ　決闘の場所は、サボテン牧場だったな。みんな、私についてくるんだ。

プリンさん・サリー・アープ・部下たちが去る。

壁に、牧場が映し出される。馬小屋・木の柵・草の山などなど。そこへ、ビリーと子分たちがやってくる。子分たちは蹄鉄を持っている。

1 1

ビリー

ビリー
ワン

ビリー

ビリー
フオー

ビリー

ビリー
ファイブ

ビリー

ビリー
シックス

ビリー

ビリー
セブン

ビリー

東の空に太陽が昇ったぞ。いよいよ決闘の時間だな。

でも、ホリデイがまだ来てません。

決闘に遅れるとは、とんでもないヤツだ。俺を待たせると、どういうことになるか、思い知らせてやる。野郎ども、蹄鉄は持ってきたか。

(蹄鉄を持ち上げて)ちゃんと持っていました。

ご苦労、ご苦労。ホリデイに見られないように、後ろに隠しておけ。俺が「やれ!」と言ったら、投げるんだぞ。

ボスが「やれ!」って言うのは、いつですか?

決闘が始まって、すぐだ。

すぐって、どれぐらいですか? 1秒後ですか? 2秒後ですか?

すぐって言ったら、すぐだ。

もう少し正確に言ってくれないと、わからないんだよな。

それぐらい、自分で考えればいいだろう。自分のことは、自分でやれ! あっ、「やれ!」って言っちゃった。

子分たちが、ビリーに蹄鉄を投げる。

ビリー
ビリワン
ビリー

バカ！ 蹄鉄は、ホリデイに向かって投げてるんだ！
ボス！ ホリデイが来ました！
野郎ども、蹄鉄を拾え！ 急いで、位置につくんだ！

子分たちが蹄鉄を拾う。そこへ、ホリデイがやってくる。子分たちがホリデイの周りを取り囲む。

ホリデイ
ビリー

遅くなって、悪かったな。
いや、ちょうどいいタイミングだった。あと3秒早く来てたら、非常に
まずいことになってた。

ホリデイ
ビリー
ホリデイ

まずいこと？
いや、こっちの話だ。さあ、そろそろ始めるとするか。
その前に、一つだけ約束しろ。この決闘は、俺とおまえの二人だけで戦
うって。

ビリー
ホリデイ
ビリー

いいだろう。約束してやる。
じゃ、子分たちに、蹄鉄を捨てさせる。
おまえ、どうして俺たちの作戦に気づいた。さては、スパイに探らせた
のか？

ホリデイ
ビリー

そんなことをしなくても、気づくに決まってるだろう。
仕方ねえ。野郎ども、蹄鉄を捨てるんだ。

子分たちが蹄鉄を捨てる。

ビリー よし、勝負だ。ホリデイ、こっちへ来い。

ビリーとホリデイが背中合わせに立つ。

ビリー 「〇まで数えたら、振り向いて撃つんだ。それまでは、絶対に撃つなよ。
ホリデイ わかってるよ。

ビリー 「〇は9の次だからな。8の次じゃねえからな。7の次でもねえぞ。

ホリデイ いいから、早く始めろ。
ビリー よし、勝負だ。野郎ども、1からスタートだ。

—————
M「今度生まれてくる時は」

子分たち 1！ 2！ 3！

子分たちのカウントに合わせて、ビリーとホリデイが一步ずつ歩く。

ビリー 俺は銀行強盗だ 銀行強盗にも
一つぐらいは夢がある

今度生まれてくる時は

周りのみんなを 幸せにする
明るい男になる夢さ

ビリー・ホリデー

俺が死んだら 俺の墓には
たった一言 こう書いてくれ
カッコよく生きて カッコよく死んだ
男の中の男って
4 ! 5 ! 6 !

子分たち

子分たちのカウントに合わせて、ビリーとホリデーが一步步歩く。

ホリデー

俺は賞金稼ぎだ 賞金稼ぎにも
一つぐらいは夢がある
今度生まれてくる時は
惚れた女を 幸せにする
優しい男になる夢さ
俺が死んだら 俺の墓には
たった一言 こう書いてくれ
カッコ悪く生きて カッコ悪く死んだ
男の中の男って
7 ! 8 ! 9 !

ビリー・ホリデー

子分たち

子分たちのカウントに合わせて、ビリーとホリデーが一步步歩く。9歩目で、ビリーが振り返る。そこへ、チャックがやってくる。

チャック

ホリデー、危ない！

ビリーがホリデイの背中を撃つ。ホリデイが倒れる。そこへ、プリンさんとサリーがやってくる。

チャック
プリンさん

ホリデイ！（と駆け寄ろうとする）
待ちなさい、チャック！（とチャックの腕をつかむ）

ホリデイが立ち上がる。ビリーがさらに撃つ。しかし、ホリデイは倒れない。ビリーがさらに撃つ。が、弾丸がなくなる。

ビリー

おまえ、どうして倒れねえんだ。

ホリデイ

おまえが先に撃つてくることはわかっていた。だから、これを背中に入

ビリー

クソー！（と背中から鉄板を出す）

ホリデイ

おっと動くな。（と拳銃を抜いて）この勝負、どうやら俺の勝ちらしい

ビリー

それはどうかな。野郎ども、そいつらを捕まえろ！

子分たちがプリンさん・チャック・サリーを捕まえる。

ビリー

これで、形勢逆転だな。

ホリデイ

おまえってヤツは、どこまで汚いんだ。

ビリー

うるせえ！ つべこべ言わずに、拳銃を捨てろ！

サリー
プリンさん

プリンさん、何とかして。
月はどこ？ まだ、どこかにある？

壁に、空が映し出される。明るい大きな太陽と、ボンヤリした満月。

サリー

(指さして) あそこにある。でも、なんだかボンヤリしてる。

プリンさん

太陽が昇ってきたからよ。困ったわ。あれじゃ、私の呪文が届かない。

ビリー

(ビリーワンから拳銃を受け取って) どうした、ホリデイ。拳銃を捨てる

チャック

と言ったのが、聞こえなかったのか？

ホリデイ

ごめんよ、ホリデイ。迷惑ばかりかけて。

気にするな。弟子の面倒を見るのが、師匠の仕事じゃないか。(と拳銃を捨てる)

そこへ、アープと部下たちがやってくる。

アープ

手を挙げる、ビリー！

ビリー

手を挙げるのは、おまえの方だ。言う通りにしねえと、こいつらを撃つぞ。

アープ

あ、プリンさん！

プリンさん

ごめんなさい、保安官。

アープ

私がつと早く来ていれば、こんなことにはならなかったのに。無念だ。

アープと部下たちが拳銃を捨てる。

ビリー
ホリデイ
ビリー
ホリデイ
ビリー
ホリデイ
ビリー
ホリデイ
チャック

ホリデイ、今度と言う今度は、あの世へ送ってやるぞ。
俺が死ぬのは構わない。しかし、他のヤツらは許してやってくれ。
いいだろう。約束してやる。
今度と言う今度は、約束を破るなよ。
おまえが死ねば、もう俺に勝てるヤツはいねえ。何をしようと、俺の自由だ。
ビリー、頼む。
かわいそうだが、お別れだ。あばよ、ホリデイ。(と拳銃を構える)
やめろ！

チャックがビリセブンの拳銃を奪い取り、ビリーに向ける。

チャック
サリー
ビリー
チャック
ビリー
チャック
ビリー
チャック
ビリー
チャック
ホリデイ
チャック
ビリー
ホリデイ

手を挙げる、ビリー！
お兄ちゃん！

(チャックに) しつこいガキだな。まだ諦めてなかったのか。
動くな、ビリー！ ちよつとでも動いたら、撃つぞ。

おまえに、俺が撃てるか？

撃てるさ。おまえはパパのカタキだ。

おまえの腕で、俺に当てられるのか？

こんなに近いんだ。当たるに決まってるさ。

もし外したら、1秒後には、おまえが撃たれるんだぞ。それでも、いい

のか？

(チャックに) おまえの腕じゃ、外れる確率の方が高い。ビリーの言う通りにするんだ。

イヤだ！

俺は、今から100数える。数え終わるまでに、拳銃を捨てなければ、俺は

坊主、拳銃を捨てろ！

ビリー 1!
サリー 2!
プリンさん、お兄ちゃんを助けて。
サリー 助けたいのはやまやまだけど、月の光が弱すぎるのよ。あれじゃ、私の
プリンさん 呪文は届かない。
サリー そんなの、やってみなくちゃわからないじゃない。
プリンさん わかったわ。そのかわり、サリーちゃんも一緒に歌ってね。
ビリー 3!
4!

—————
M 15 「ムーンライト・マジック」

プリンさん お願い月の光よ
私を聞いてよ
家をなくした子犬に
ほほえみかける その光で
私の淋しさ 消して
いつかまたあの人に会えると
信じていたいから
ルーナルーナルー
ルーナルーナルー
プリンさん
プリンさん
プリンさん
5!
6!
ダメだわ。やっぱり届かない。
諦めないで、もう一度、歌おう。

プリンさん
じゃ、今度は、保安官も一緒に歌って。ルーナルーナルー！

プサ・アープ
ルーナルーナルー！

プリンさん
(部下たちに) さあ、あなたたちも。ルーナルーナルー！

プサア・部下
ルーナルーナルー！

ビリー
7！ 8！

プリンさん
ダメだわ。まだ届かない。

サリー
でも、もう一度だけ。

プリンさん
(客席に向かって) じゃ、今度は、みんなも一緒に歌って。ルーナルー
ナルー！

プサア部
ルーナルーナルー！

プリンさん
(客席に向かって) もっと大きな声で。ルーナルーナルー！

プサア部
ルーナルーナルー！

ビリー
9！ 10！ さあ、数え終わったぞ。

ホリデイ
坊主、逃げろ！

ビリー
今さら、手遅れだ。あばよ、坊主。(と拳銃をチャックに向ける)

と、銃声。ビリーが拳銃を落とす。と、さらに銃声。子分たちが拳銃を落とす。

ビリー

誰だ！

そこへ、マスターがやってくる。拳銃をビリーに向ける。

マスター

私ですよ。

ホリデイ
マスター

マスター、あんたがどうしてここへ。
あなたが殺されるのを、黙って見過ごすわけには行きません。あなたに
は、まだやり残した仕事があるでしょう。

ホリデイ
マスター

その前に、もう一つ。
牧場を買うことか。

ホリデイ

もう一つって、なんだ。

マスター

忘れたんですか？ カタキ討ちですよ。

ホリデイ

どうしてそれを知ってるんだ。

マスター

さつき、あの子が話をしたじゃないですか。でも、私は、あなたに初

めて会った時から、気づいてました。あなたが、あの時のお医者さんの
息子だったことを。でも、あなたは気づかなかった。私は、ヒゲを剃っ
てしまったから。

ホリデイ

それじゃ、あんたは。

マスター

私の名前は、プードル。あなたのお父さんを撃った男です。

アープ

みんな、ヤツらの拳銃を拾うんだ。

部下たちが子分たちの拳銃を拾う。アープがビリーの拳銃を拾う。

アープ

チャック、君も拳銃を下ろすんだ。

ビリー

イヤだ。

チャック

どうしても、俺が撃ちたいのか。

おまえはパパの足を撃った。パパは我慢してたけど、きつと死ぬほど痛
かったんだ。おまえにも、パパと同じ苦しみを味わわせてやる。

ホリデイ やめる、坊主！

ホリデイが、チャックとビリーの間に立つ。

チャック

どうして止めるんだよ。

ホリデイ

ビリーを撃つて、それでどうなる。おまえの親父の怪我が治るのか？

チャック

僕は、ビリーが許せないんだ。

ホリデイ

おまえがビリーを恨むのは、よくわかる。しかし、おまえがビリーを撃つてみる。今度は、ビリーの子分たちがおまえに恨みを持つだろう。

チャック

別に構わないよ。

ホリデイ

しかし、子分たちがおまえを撃つてみる。また別の誰かが、子分たちに恨みを持つだろう。誰かが恨みを捨てなければ、この世は恨みでいっぱいになるんだ。

チャック

でも、僕にはビリーが許せない。

ホリデイ

許すんだ。おまえが許せば、この世から、恨みが一つ消えるんだから。

アープ

ビリーのことは、私に任せなさい。牢屋に入れて、たっぷり反省させてやる。

サリー

お兄ちゃん。

プリンさん

チャック、私とお家へ帰りましょう。

チャック

わかったよ。僕はホリデイの言う通りにする。家へ帰るよ。

チャック

チャックがホリデイに拳銃を渡す。

チャック

チャックがホリデイに拳銃を渡す。

チャック

チャックがホリデイに拳銃を渡す。

チャック

チャックがホリデイに拳銃を渡す。

チャック

チャックがホリデイに拳銃を渡す。

チャック

チャックがホリデイに拳銃を渡す。

チャック

チャックがホリデイに拳銃を渡す。

チャック

チャックがホリデイに拳銃を渡す。

チャック

チャックがホリデイに拳銃を渡す。

チャック

チャックがホリデイに拳銃を渡す。

チャック

チャックがホリデイに拳銃を渡す。

アープ
ビリー
アープ
ビリー
アープ

ビリー、私と一緒に、保安官事務所まで来るんだ。
おい、坊主。おまえの親父を撃って悪かったな。許してくれ。
おまえが謝るなんて、珍しいな。
あいつは、俺を許してくれたんだ。謝らないわけにはいかねえだろう。
あばよ、坊主。(と歩き出す)
マスター、ビリーを捕まえたのは、あんただ。賞金の5万ドルを、後で取りに来てくれ。

ビリー・子分たち・アープ・部下たちが去る。そこへ、チワワがやってくる。

チワワ
マスター

マスター、あんたがビリーを捕まえたって、本当？
本当ですよ。これでも若い頃は、西部一の賞金稼ぎって呼ばれてたんですから。

チワワ

賞金は何に使うの？ やっぱり、牧場を買うの？

マスター
チワワ

いや、牧場は諦めます。私は、この人に撃たれなくちやいけないんで。どうして？

マスター
ホリデイ

私は、この人のお父さんを撃ったんですよ。
あれは、親父が悪かったんだ。親父が酔っ払って、あんたにからんだんだからな。

プリンさん

ホリデイも、カタキ討ちを諦めるの？

ホリデイ
マスター

(マスターに)俺はもう、あんたを恨んでない。恨みは捨てたんだ。
ありがとう、ホリデイ。

ホリデイ

じゃあな。(と歩き出す)

マスター
ホリデイ
マスター
ホリデイ
チワワ
マスター
ホリデイ
プリンさん
ホリデイ

待ってください、ホリデイ。私のかわりに、賞金をもらってください。
ビリーを捕まえたのは、おまえだ。
それなら、私と二人で、牧場をやりませんか。
あんたと二人で？
いいえ、三人よ。私も仲間に入れてちょうだい。
お願いします、ホリデイ。
どうしようかな。
一緒にやればいいじゃない。カウボーイになるのが、あなたの夢だった
んでしよう？
そうだな。ずいぶん遠回りをしたけど、これでやっと夢がかなうってわけだ。

―――M 16「牧場に朝が来た」

壁に、草原が映し出される。青い空・白い雲・緑の草。牧場に朝が来たのだ。そこは、サボテン牧場かもしれないし、ホリデイ・マスタ―・チワワの3人が買った牧場かもしれない。そこへ、馬たちがやってくる。草原を自由に走り回る。そこへ、ジョーがやってくる。ジョーと馬のおかけつこが始まる。やがて、馬たちが走り去る。ジョーが上空へと飛び上がる。壁に、港が映し出される。たくさんのビル。そこへ、プリンさん・チャック・サリー・パパ・ママ・ア―プ・部下たちがやってくる。パパは松葉杖をついている。ママが横でパパを支えている。ジョーがプリンさんの目の前へ舞い降りる。

プリンさん

ジョー！ 見送りに来てくれたの？

ジョー

(うなづく)

パパ

プリンさん、いろいろお世話になりました。

プリンさん

いいえ、私は何もしてません。

パパ

そんなことはない。チャックを無事に連れ戻してくれたじゃないですか。

プリンさん

チャックは、自分で決心したんです。カタキ討ちをやめて、お家へ帰るって。

サリー

でも、ブードルさんが来なければ、お兄ちゃんは撃たれてた。ブードル

プリンさん
サリー
プリンさん

ママ
アープ
ママ
アープ
ダックワン
アープ

プリンさん
パパ
ママ
サリー
パパ
プリンさん
チャック
プリンさん

さんを呼んだのは、プリンさんでしょう？
それが、わからないのよ。
どうして？

確かに、私たちが歌を歌ったら、ブードルさんが来たわ。でも、あれはただの偶然だったのかもしれない。ブードルさんは、ホリデイを助けようと思っただけで来たのかもしれない。

じゃ、プリンさんの魔法のせいじゃなかったんですか？
今、なんて言いました？ 「魔法」って言ったんですか？
言っただけですよ、そんなこと。

いや、確かに「魔法」って言いましたよ。
保安官、それは、魔法瓶のことですよ。

ああ、魔法瓶か。プリンさん、あなたの正体は、私たちだけの秘密ということにしておきましょう。

それじゃ、私は日本へ帰ります。
プリンさん、お元気で。

また遊びに来てくださいね。
今度は、ブードルさんたちの牧場へ行こうね。

チャック、おまえもお別れを言いなさい。
さよなら、チャック。

プリンさん、ごめんなさい。プリンさんは僕を助けようとしてくれたのに、言うことを聞かなくて。

いいのよ、チャック。あなたも、最後にはわかってくれた。命の大切さをね。

チャック

プリンさん

アープ

プリンさん

—————

アープ

全員

パパ・ママ

命の大切さ？

たとえどんな理由があつたとしても、人を撃つのは悪いことよ。他の人を傷つける権利なんて、誰にもないの。

(拳銃を抜いて)こんなものがあるから、いけないんだ。今、私たちがやらなければいけない仕事は、拳銃のいらぬ平和な世界を、一日でも早く作ることだ。

確かにそうね。人の命は、宇宙の宝物なんだから。

M17「もしも誰かを嫌いになったら」

大きな大きな宇宙の中で

人が生きているのは たぶん

小さな小さな地球だけ

だから 人の命は

一つ一つが 宇宙の宝物

もしも誰かを嫌いになったら

そのことを思い出そう

命は 宇宙の宝物だということ

もしも誰かに傷つけられて

いつかは僕も 傷つけてやる

そう思うのもよくわかる

だけど 傷つけ合って

全員

いつになつたら 仲直りできるの
もしも誰かを嫌いになつたら
そのことを思い出そう
命は 宇宙の宝物だということを

チャック・サリー・パパ・ママ・アープ・部下たちが去る。プリンさんが手を振る。

プリンさん

この世に悪い人などいない
それでも悪いことをするのは
心が弱いからなんだ
だから すぐに嫌いに
ならないでまた やり直そうよ
もしも誰かを嫌いになつたら
そのことを思い出そう
命は 宇宙の宝物だということを

ジョーが飛び去る。プリンさんが手を振る。

トンガリぼうしの魔法つかいたちがやってくる。

—————M18「トンガリぼうしの魔法つかい」

魔法つかいたち

白い月が昇ったら
窓を開けて 夜空を見上げて

ほら トンガリぼうしが通り過ぎる

悲しい寝顔の女の子には

そっと笑顔の魔法をかける

私は月の魔法つかい

トンガリぼうしの魔法つかい

プリンさん

こうして、私は日本へ帰ってきました。(ポケットからハガキを出して)
これは、サリーちゃんから届いた2つ目の手紙。チャックのパパは、足
が治って、元気に銀行で働いてるそうです。チャックは、ちゃんと宿題
を書いたのかな？ ホリデイは、プードルさんやチワワさんと、仲よく
牧場をやってるみたい。牧場の名前は、プリン牧場だって。なんていい
名前かしら。ビリーは牢屋に入って、反省の毎日。休憩時間には、蹄鉄

投げをしてるそうよ。アメリカへ行つて、私はいろんな人に出会いました。そして、わかったのは、この世に悪い人なんていないってこと。それでも悪いことをしてしまうのは、心が弱いからなのよ。だから、誰かに意地悪されても、すぐに嫌いにはならない。どうしてそんなことをするのか、考えてみよう。今の私は、そんなふうに思っています。それではみなさん、さようなら。また会える日を楽しみに待っています。

魔法つかいたち

青い屋根を飛び越えて
忘れた夢 届けに行こう
さあ トンガリぼうしが舞い降りる
ひとりぼっちの男の子には
楽しいお話 聞かせてあげる
私は月の魔法つかい
トンガリぼうしの魔法つかい

魔法つかいたちが去る。あたりが次第に明るくなっていく。夜明けの時間だ。それでも、月は白く輝いたままだ。